

# μ ST-SH2 シリアルインタフェース (SCIF2) 動作不具合について

1 版 2009年2月26日

平素は弊社製品をご利用いただき誠にありがとうございます。

この度、弊社製品 Linux-KIT-B01 付属のサンプルプログラムに不具合が見つかりましたので、以下のように訂正させていただきます。ご迷惑をお掛けしましたこととお詫びしますとともに、訂正事項をご留意の上ご利用してください。

## 1. 不具合内容

μ ST-SH2 の SCIF2 のシリアル通信にエラーが発生する場合があります。  
弊社製品 μ ST-VCP との通信時にビデオデコーダのレジスタ値が正常に読み出せない場合があります。

## 2. 不具合原因

ドライバソフトウェアの不具合により、SCIF2 の通信時に μ ST-SH2 から出力される TxD2 端子に不定値が出力される場合があります。

## 3. 対処方法

Linux-KIT-B01 付属の Linux カーネルをバージョン 1.4 にアップデートします。  
<http://www.apnet.co.jp/public/ust/dl/filecenter/index.html>にてソースコード及びバイナリを公開しております。  
本ページにアクセスするには製品に添付されているパスワードが必要になります。

ブートローダ上でバイナリ『vmlinuz-ustsh2-1.4』を利用したアップデート方法を以下に示します。

- ① coLinux の TFTP ルートディレクトリ『/srv/tftp』に Linux カーネル『vmlinuz-ustsh2-1.4』をコピーします。
- ② ネットワークから TFTP プロトコルを使用して RAM 上に Linux カーネル『vmlinuz-ustsh2-1.4』をダウンロードし、FlashROM に保存します。

```
>load -r -b 0x0c280000 -m tftp -h 192.168.128.201 vmlinuz-ustsh2-1.4
ETH/Load 0x0C280000 -- 0x0C39C000 ,Total size = 1163264Byte
>save -b 0x0c280000 -f 0xa0080000 -l 0x00180000 -m kernel 0x0c280000 0x0c280000
Write FlashROM (0xA0080000-0xA0200000) : 100%
Verify FlashROM (0xA0080000-0xA0200000) : OK
Finished write FlashROM (0xA0080000-0xA0200000)
>
```

## 4. 修正内容の詳細

TxD2 端子を出力端子として機能させている間は、SCSCR2 の TE ビットの値をクリアする前に SCSPTR2 の SPBIO ビットをセットしておくことで、TXD2 端子の出力が不定値になることを防止します。

## 著作権について

- ・本文書の著作権は（株）アルファプロジェクトが保有します。
- ・本文書の内容を無断で転載することは一切禁止します。
- ・本文書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・本文書の内容については、万全を期して作成いたしました。万が一不審な点、誤りなどお気づきの点がありましたら弊社までご連絡下さい。
- ・本文書の内容に基づき、アプリケーションを運用した結果、万一損害が発生しても、弊社では一切責任を負いませんのでご了承下さい。

## 商標について

- ・SuperHは、（株）ルネサステクノロジーの登録商標、商標または商品名称です。
- ・その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。



株式会社アルファプロジェクト  
〒431-3114  
静岡県浜松市東区積志町 834  
<http://www.apnet.co.jp>  
E-MAIL : [query@apnet.co.jp](mailto:query@apnet.co.jp)